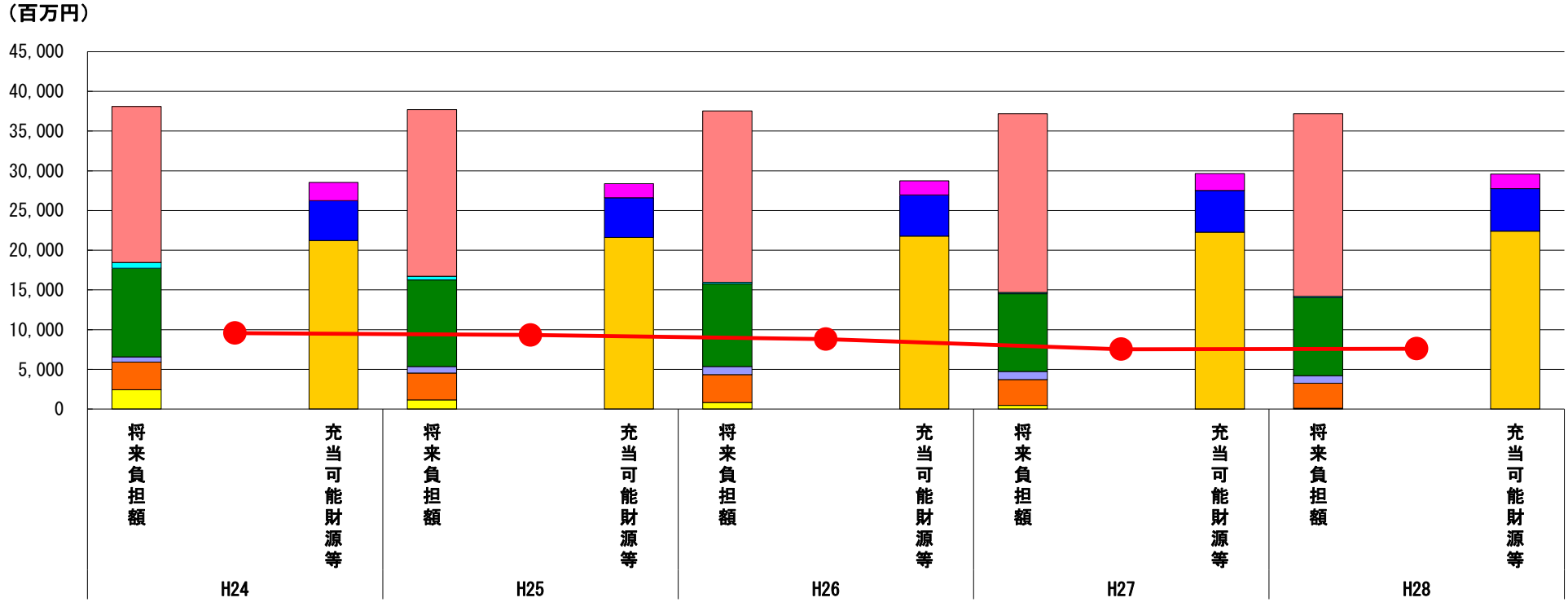
（10）将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

岡山県笠岡市



（百万円）

分子の構造	年度	H24	H25	H26	H27	H28
将来負担額(A)	一般会計等に係る地方債の現在高	19,648	21,000	21,590	22,516	23,003
	債務負担行為に基づく支出予定額	717	452	186	165	146
	公営企業債等繰入見込額	11,159	10,900	10,417	9,781	9,823
	組合等負担等見込額	645	816	1,008	992	962
	退職手当負担見込額	3,494	3,397	3,509	3,252	3,126
	設立法人等の負債額等負担見込額	2,436	1,143	838	480	118
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額	－	－	－	－	－
	連結実質赤字額	－	－	－	－	－
	組合等連結実質赤字額負担見込額	－	－	－	－	－
充当可能財源等(B)	充当可能基金	2,291	1,768	1,783	2,113	1,818
	充当可能特定歳入	5,041	4,997	5,166	5,255	5,345
	基準財政需要額算入見込額	21,203	21,615	21,784	22,279	22,412
(A)－(B)	将来負担比率の分子	9,565	9,327	8,814	7,538	7,604

分析欄

・借入金の一括償還や継続的な市債借入額の制限を行っているが，大規模なハード事業が続いていることや臨時財政対策債の残高が積み上がって来たことにより増加している。
・公営企業債等繰入見込み額については、下水道会計等の償還額が増加傾向にあることが要因となり増となっている。
・設立法人等の負債額等負担見込額は，土地開発公社の着実な健全化により，年々減少している。平成25年度では新たな健全化計画を策定し、借入金の一括償還を行い，その後も年々縮減を図ることができている。

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。